

町会報

えひめ

2017

1

Vol.94

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



砥部焼まつり大使 2017

砥部町「第34回 砥部焼まつり」

Contents

地方財政対策等に関する研修会	2~3
町村会・議長会定期総会順序	4
都道府県町村会正副会長交流会議	4
愛媛県町村議会議長会第2回全員協議会	5
全国監査委員協議会定期総会	6
町の伝統行事	7
一筆／1月の行事／編集後記	8

今年は砥部焼誕生240周年！毎年大好評の砥部焼大即売会はもちろん、カフェ・レストランなどの記念イベントも開催します。

- ◆日時／4月15日(土) 第1会場 9時~21時
第2会場 9時~17時
- 4月16日(日) 9時~17時
- ◆場所／第1会場 砥部町陶街道ゆとり公園
第2会場 砥部焼伝統産業会館周辺

地方財政対策等に関する研修会を開催

1/23・24 (公財)愛媛県市町振興協会

公益財団法人愛媛県市町振興協会は、1月23日(月)から24日(火)にかけて、県内3ブロックで「平成29年度地方財政対策等に関する研修会」を開催しました。



研修会の目的は、今日の厳しい財政状況の中、地方は地方創生に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことが求められており、こうした状況の中で、平成29年度の予算編成に反映させるべき地方交付税の見通しや主な制度改正、および公会計などの地方財政の当面の課題について理解を深めるため、平成29年度地方財政対策を中心として開催したもの。

講師は、関西学院大学人間福祉部大学院経済学研究科教授の小西砂千夫先生。平成29年度の地方財政対策全般について、数量的分析を加えながら鋭く解説。市町の担当者にとって実に有意義なお話をいただいた。

各市町からの参加者は、東予ブロック24名、中予ブロック34名、南予ブロック21名、延べ79名。



平成29年度地方財政対策等に関する研修会

1. 目 的

今日の厳しい財政状況の中、地方は地方創生に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことが求められている。

こうした状況の中で、平成29年度の予算編成に反映させるべき地方交付税の見通しや主な制度改革、および公会計などの地方財政の当面の課題について理解を深めるため、平成29年度地方財政対策を中心とする本研修会を開催する。

2. 日時及び会場

ブロック	実施日	時 間	会 場	備 考
南 予	平成29年1月23日(月)	10:00~12:00	愛媛県南予地方局	
中 予	平成29年1月23日(月)	15:00~17:00	にぎたつ会館	
東 予	平成29年1月24日(火)	10:00~12:00	愛媛県東予地方局	

3. 対 象 者 各市町地方財政担当部・課長および担当者等

4. 研修テーマ 平成29年度地方財政対策の概要と地方財政の懸案事項について

5. 講 師 関西学院大学人間福祉学部大学院経済学研究科
教授 小 西 砂千夫 (こにしさちお) 先生

[主な経歴]

総務省 地域実践活動に関する大学教員

愛媛県 行革甲子園審査員、市町村合併検証の専門委員など

【小 西 砂千夫 先生 プロフィール】

1960年、大阪市の生まれ

関西学院大学経済学部卒業、博士(経済学)、

現在、関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授

専門は財政学、地方財政論

• 過去に就任した公職

総務省「地方財政の健全化及び地方債制度の見直しに関する研究会」座長、

「定住自立圏構想研究会」座長代理、沖縄振興審議会委員等

- 主な著書に『地方財政改革の政治経済学』(有斐閣、2007年)、『市場と向き合う地方債』(有斐閣、編著、2011年)、『公会計改革の財政学』(日本評論社、2012年)、『政権交代と地方財政』(ミネルヴァ書房、2012年)、『日本財政の現代史Ⅲ』(有斐閣、編著、2014年)、『日本の地方財政』(神野直彦と共著、有斐閣、2014年)、『統治と自治の政治経済学』(関西学院大学出版会、2014年)がある。

町村会・議長会 定期総会順序

平成29年2月15日(水) 於「松山全日空ホテル」

愛媛県町村会 第70回定期総会 本館4階 ダイヤモンドボールルームⅠ	愛媛県町村議会議長会 第68回定期総会 本館4階 ダイヤモンドボールルームⅠ
1 開会のことば 〈13時30分～〉 2 会長あいさつ 愛媛県町村会長 3 全国町村会長祝辞 全国町村会長(代理) 4 議 事 (1) 平成28年会務報告 (2) 平成29年度愛媛県町村会 事業計画 (3) 平成29年度愛媛県町村会 会費の分賦方法 (4) 平成29年度愛媛県町村会 一般会計予算 (5) 平成29年度愛媛県町村会 特別会計予算 5 閉 会 〈14時50分〉	1 開会のことば 〈16時00分～〉 2 会長あいさつ 愛媛県町村議会議長会会長 3 全国町村議会議長会表彰伝達 4 会議録署名人の指名 5 議 事 (1) 会務報告 (2) 平成27年度愛媛県町村議会議員 共済事業 特別会計 決算 (3) 平成29年度愛媛県町村議会議員 共済事業 特別会計 予算 (4) 平成27年度愛媛県町村議会議長会 一般会計 決算 (5) 平成29年度愛媛県町村議会議長会 会務運営方針及び事業計画 (6) 平成29年度愛媛県町村議会議長会 会費の分賦方法 (7) 平成29年度愛媛県町村議会議長会 一般会計 予算 6 閉会のことば 〈16時50分〉
○ 意見交換会 本館3階 ローズ 〈17時30分～19時30分〉 出席者 県下町長 及び 町議会議長 1 開 会 主催者あいさつ 愛媛県町村会 会長 2 来賓祝辞 愛媛県知事・愛媛県議会議長 3 乾 杯 愛媛県町村議会議長会 会長 4 閉会あいさつ 愛媛県町村会 副会長	



都道府県町村会 正副会長交流会開く

全国町村会は、1月26日全国町村会館で「都道府県町村会正副会長交流会」を開催した。本会からは清水会長、佐川副会長及び事務局長が出席した。会議は、藤原忠彦全国町村会長の挨拶に始まり、来賓の佐藤文俊総務副大臣、飯田徳昭全国町村議会議長会長から祝辞があった。

この後、表彰式に移り、清水本県会長をはじめとする64名の自治功労者の方々が表彰された。

次いで、国立情報学研究所教授・社会共有知研究センター長の新井紀子氏から「人工知能の発達とそれにともなう社会変化」と題する講演を聴講。最後に都道府県町村会の正副会長等と意見交換が行われ、盛会に終了した。

第4回全員協議会を開催

県町村議会議長会

平成28年度第4回全員協議会が、1月18午後3時30分から「県自治会館会議室」において開催され、岡井会長、山下副会長、松田監事、濱田上島町議長、高橋久万高原町議長、井上砥部町議長、池田内子町議長、吉谷伊方町議長及び板尾松野町議長の全9町議長が出席した。

- 1 開 会
- 2 挨拶 岡井会長
- 3 会議録署名人の指名
池田内子町議長
松田鬼北町議長



4 報 告

- (1) 行事関係について
- (2) 請願・意見書等に関する定例報告について

事務局から、説明があり、一同了承。

5 協 議

- (1) 平成27年度一般会計及び特別会計決算について

事務局から、内容説明があり一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。

- (2) 平成28年度会務運営方針及び事業計画(案)について

事務局から、内容説明があり一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。

会に提出することとなった。

- (3) 平成29年度一般会計予算(案)について

事務局から、①会費の分賦方法②予算案③会費の納入時期について説明があり一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。

- (4) 平成29年度共済事業特別会計予算(案)について

事務局から、内容説明があり一同了承。原案のとおり定期総会に提出することとなった。

- (5) 全国町村議会議長会表彰伝達について

事務局から内容説明があり、一同了承した。

- (6) 第68回定期総会の開催要領について

事務局から、①総会次第(案)②役割分担等について説明があり、一同了承し、定期総会に提出することとなった。

6 その他

- ① 四国四県町村長・議長大会について
- ② 第58回四国地区議長会研修会日程等(案)について
- ③ 次回全員協議会について
- ④ その他

順次、事務局から説明があり、一同了承した。

出すこととなった。

なお、昨年に続き今回も、議事終了後に県町村会と意見交換会を実施することとし、来賓祝辞を行うこととした。

- (7) 愛媛県町村議会議長会常務理事の選任について同意を求めめる件について

事務局から内容説明があり、3月31日に任期満了となる渡部常務理事を引き続き選任することに同意した。

任期は4月1日から2年間。

平成29年度事業計画(案)

1. 会 議

- (1) 定期総会 1回
- (2) 臨時総会 必要に応じ
- (3) 全員協議会 必要に応じ
- (4) 監事会 1回
- (5) 正副会長会 必要に応じ
- (6) 事務局長会議 1回

2. 研修会

- (1) 第1回議員研修会
日時・会場 7月25日(火)
メルパルク松山「ラフィアーネ」
対 象 町議会議員及び議会事務局長等
講 師 未定
- (2) 第2回議員研修会
(第58回四国地区町村議会議長会研修会と合同開催)
日時・会場 10月12日(木)
ひめぎんホール サブホール
対 象 町議会議員及び議会事務局長等
講 師 未定
- (3) 議長研修
市町村アカデミー(千葉市)または国際文化アカデミー(大津市)への参加
実施日は未定
- (4) 職員研修
① 議会運営上の疑義に関する実務研修会 1回
② 「市町村議会事務局職員研修」(国際文化アカデミー)への参加
③ 全国町村議会事務局職員研修会への参加費助成

3. 政務活動

- (1) 町振興のための要望実現運動の実施
- (2) 系統議長会その他関係団体との連絡協調
- (3) 「町会報えひめ」の発行
- (4) ホームページの充実
- (5) 町村議会実態調査の実施及び情報連絡
- (6) 優良議会、自治功労者、優良職員の表彰
- (7) 町議会議員名簿の作成

4. 福利厚生

- (1) 町村議会議員共済事業の推進
- (2) 全国町村議会議員団体補償制度に対する協力

5. その他

- (1) 議長相互の協調及び情報連絡事業の積極的推進
- (2) 議会運営上の疑義についての照会に対する対応
- (3) その他本会の目的達成のため必要と認められる事業

全国監査委員協議会定期総会 監査機能の強化に関する要望決議！

全国町村監査委員協議会の「第26回定期総会」が、1月26日、「全国町村議員会館会議室」で開催され、関係県の会長、事務局長ら約60人が出席。本県からは阿部会長（伊方町代表監査委員）及び事務局長が出席した。

総会に先立ち、総務省自治行政局の篠原俊博行政課長から「第31次地方制度調査会の答申等」について、講演があり、これを聴講。

続いて総会が開催され、飛鳥会長（山形県最上町代表監査委員）のあいさつに始まり、鈴木理事（長野県中川村）を議長に選出し、左記のとおり進められた。

日程第1 議事録署名人の指名
日程第2 報告第1号 会務報告
会長から一年間の会務の状況の報告があった。

日程第3 承認第1号「平成27年決算」

事務局長から決算説明があり、異議なく承認された。

日程第4 議案第1号「平成29年度事業計画及び収支予算」を議決

日程第5 議案第2号「監査機能の強化に関する要望」を原案のとおり決定。

日程第6 議案第3号「決議」を原案のとおり決定。

日程第7 協議第1号「実行運動方法」を決定。

なお、総会前日の25日に幹事会が開催され、事務局長が出席。総会提出案件の事前協議を行った。

また、幹事会終了後に会長・事務局長意見交換会が開催された。

第26回定期総会日程

- 日時 平成29年1月26日(木) 午前10時開会
場所 全国町村議員会館 2階会議室
- 〔講演〕 「第31次地方制度調査会における答申等について」
総務省自治行政局行政課長 篠原 俊博 氏
- 〔議事〕 日程第1 議事録署名人の指名
日程第2 報告第1号 会務報告
日程第3 承認第1号 平成27年度決算
日程第4 議案第1号
平成29年度事業計画及び収支予算
日程第5 議案第2号 監査機能の強化に関する要望
日程第6 議案第3号 決議
日程第7 協議第1号 実行運動方法(案)

決議

われわれ町村監査委員は、厳しい町村財政の中、行政に対する住民の信頼を確保し、透明性のあるものとしていくため、日々研鑽を積み努力を重ねている。

しかしながら、町村における監査体制は、その課せられた義務と責任を十分に果たすには厳しい現状にある。

このため、研修、事務局体制の充実強化をはじめ、監査活動費の確保等監査機能の充実強化が緊急の課題である。

本日、ここに「全国町村監査委員協議会第26回定期総会」を開催し、町村監査委員相互の緊密な連携のもと、決意を新たに、下記事項の早期実現に向け、組織を挙げて邁進することを表明する。

記

- 1 監査機能の充実と監査体制を強化するため、監査事務局体制を整備する。
- 2 監査の充実を期するため、必要な監査活動費を確保し、監査委員の職務にふさわしい報酬とする。
- 3 全国の町村監査委員の声を結集するため、未加入団体の全国協議会への早期加入を促進する。

以上、決議する。

平成29年1月26日

全国町村監査委員協議会 第26回定期総会

監査機能の強化に関する要望

すべての地方公共団体が自ら責任ある監査を実施するため、監査の独立性・専門性をさらに強化する必要がある。よって、下記事項の実現を強く要望する。

記

- 1 町村の実情に応じた監査基準の策定
統一監査基準については、各地方公共団体が監査基準を策定するにあたり参考とすべき参酌基準として国が定める方向で検討されているが、その内容については地方公共団体の規模や監査事務局体制には大きな差があることから、町村の実情を踏まえた基本的事項にとどめ、詳細については、各町村の実情に応じて各町村が監査基準を策定する制度設計とすること。
- 2 参酌基準策定のための協議会等
参酌基準を策定するための協議会等を設ける場合には、町村監査の実情に詳しい実務者や、学識経験者を必ず参画させること
- 3 監査体制を充実強化するため、監査委員事務局を必置制とし、事務局体制を整備するとともに、交付税措置を強化すること。
- 4 監査委員の独立性の確保
監査の独立性を図るため、監査委員は議会において選任できるようにすること。

平成29年1月26日

全国町村監査委員協議会 第26回定期総会



各町の伝統行事！

松野町

キャニオニング

●場所／滑床溪谷

●実施時期／4月中旬～11月上旬

【概要】

滑床溪谷では昔から川遊びが盛んにおこなわれてきた。特に、日本の滝100選に選ばれている「雪輪の滝」を滑る遊びは、地元では昔からおこなわれていた夏の風物詩である。

近年、リパースポーツとして安全性に配慮した装備を装着し、専門のガイドの指導のもとおこなわれるようになった。

マスコミ等に取り上げられたり、体験者の口コミ等もあり体験者は年々増加傾向にある。

近隣市町のアウトドアスポーツとの連携も進めている。



森の国の夏まつり

●場所／松野町大字延野々

●実施時期／8月13日

【概要】

毎年夏に開催される「森の国の夏まつり」は、先祖供養の御施餓鬼にはじまり、伝統の曲目を中心に盆踊り大会、松野町が誇る鬼城太鼓の演奏、ガーデンパーティーなどが目白押しで、この日は、松野町の人口が倍以上に膨らむ。

なかでも、まつり終盤の花火大会は、まさに目の前に広がる花火と鬼城太鼓の演奏が絶妙にマッチし、日本一の花火大会（自称）である。



秋まつり

●場所／松野町内

(松丸地区、吉野生地区)

●実施時期／10月第4日曜日

【概要】

五穀豊穣を祝う伝統的祭り。松丸地区では牛鬼・四ツ太鼓、吉野生地区では獅子舞・五ツ鹿踊り・牛鬼・四ツ太鼓、大名行列などが町を練り歩きます。牛鬼と四ツ太鼓の鉢合わせは見物。





「矛」無し正論で

此処のところ、列島は厳しい寒気に被われ、北・東に止まらず西日本もその中に入った。正月三が日は小春日和で平穏であったが、一年で一番寒い時期と云われる「大寒」を迎えるとともにそのとおりとなった。四国地方はまだしも山陰は、積雪により基幹道路が混乱、冬景色の風情どころではない。各地の豪雪地帯は、特に過疎、超高齢社会の限界集落は雪下ろしなど苦勞の時期が、またやって来た。

ただ、稀勢の里の初場所優勝、横綱昇進は、「スー女」ならずとも喜ばしい1月の出来事であった。

さて、世界中が予期していた？。新アメリカ大統領トランプ氏は、支持率が約40%の米国は勿論であるが、就任直後の大統領令が今のところ世界に複雑な渦を起こしつつある。

メキシコとの国境3200kmの壁設置(1000kmは既設。残り2200km)。経費は、メキシコに負担(メキシコからの農産物輸入に關稅20%掛けることによる負担案)を求めた。壁がコンクリート製ならば、前例では、当該コンクリート会社がメキシコの会社とも聞く、因縁か…。

我が国の関わりとしては、まず「TPP」からの永久離脱である。国内に賛否両論あったが、先に批准した

ばかりである。關係12国の調整協議は何であったのか。厳しく協議した長時間のロス、約束と経費は無駄に泡となったのか。次に自動車を買易不平等として槍玉に挙げた。米国車の輸入については、大型で燃費は高く日本国内道で使いがってが悪く購入者が敬遠する。方や日本車は低廉で故障しないなど優良車なため、アメリカ人自身が大変好み自由購入するところにある。防衛維持費負担については、実態を十分掴んでいない。これら何れも市井では、いわずもがなのところである。

『百国中心主義』は、自由社会、展開も自由であるが、『そこ除け！そこ除け！』的になっては、70億人が住む世界の大人ではなくなる…。かつて不可侵条約を一方的に破棄した国もあつた。素朴に『自分の物は自分の物、他人の物も自分の物。』のような物の取り合い(幼稚)感覚が各国からチラチラ見えて来る時代に？。これから度を越した自国益ファースト同士の衝突は必至で、争いの世界が再出現しかねない。

未だ未だ初動である。核心は不透明のはず。『つぶやき』からは、リーダーの本心は見えないかも…。天才幕臣の誉れ高い小栗上野介は、幕末に渡米、通商条約の不平等な「通貨交換比率」を堂々と修正させた。この精神、我が国は強力な「矛」無しでも「正論」で堂々と！。

「怒りは常に愚行に始まり悔恨に終わる」

(ピタゴラス ギリシヤの哲学者)

1月の会と催し

- ▽4日 2017年年賀交歓会
- ▽6日 愛媛県人権対策協議会 2017年年賀交歓会
- ▽12日 中教審生涯学習分科会 (第84回)
- ▽12日 地域農政未来塾公開講座
- ▽18日 愛媛県町村議会議長会平成28年度第4回全員協議会
- ▽19日 内外情勢調査会松山支部懇談会
- ▽20日 地域農政未来塾研究発表会 (小田切ゼミ研究発表)
- ▽23日 地方財政対策等に関する研究会 (南予・中予)
- ▽24日 地方財政対策等に関する研究会 (東予)、(二財)市町村議會議員公務災害補償等組合連合会連絡会議
- ▽25日 全国町村議會議長会連絡調整会議、全国町村監査委員協議会幹事会、同会長・事務局長懇談会
- ▽26日 全国町村監査委員協議会第26回定期総会、全国町村会政務調査会行政委員会、全国町村会理事會・都道府県町村会会長、全国町村職員生活協同組合総代会、都道府県町村会正副会長交流会
- ▽27日 全国退職手当組合協議会代表者會議、全国山村振興連盟支部事務局長會議
- ▽31日 愛媛県ドクターヘリ運航開始式

編集後記

昨年(今年)も地方財政対策に関する研修会を開催し、市町から延べ79人のご参加をいただきました。昨年は、大雪のために1会場中止となりましたが、今年も厳しい冷え込みの中で開催が危ぶまれましたが、無事、終了。市町担当者の皆様の予算編成作業に少しはお役に立てたかなと思っております。ご参加いただいた皆さん、お疲れさまでした。今年も各種研修事業を積極的に展開していきますので、皆さん、どうぞご参加ください。

時折、出張の機会に恵まれ、上京することがあります。僕はいつも、時間があると歩くことにしているんですが、東京には実に味のある地名があります。まず、その東京。これは京都(京の都)に対して、京を都の意と解して東の京として名づけられたというのが定説になっています。次に、山手線の「日暮里駅」。これは、「につばり」と読みます。まず、文字に目がとまりました。日暮の里の駅、或いはヒグラシの里と読めて、なんと情緒的な名前かと愕きました。それと、東京はやたらと坂が多いので坂のつく地名が多いですね。乃木坂とか柿の木坂とか道玄坂とか。また上野あたりには鶯谷とか不忍池なんという、これまた情緒豊かな名前が多くあります。

また、全国に目を配ると、東北に北上市という町がありますが、この「きたかみ」という響きが、個人的には気に入っています。また愛知県は多くを知ると書く知多は、その字面が気に入っています。探せばいくつもあると思いますが、土地の名前は、誰がつけるんでしょう。また、由来はどうなんでしょう。考えれば考えるほど分かります。不思議です。